

新型コロナウイルス感染症への取り組み

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々、ご家族、関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

感染防止対策の徹底

大塚グループでは、新型コロナウイルス感染拡大下においても社員が安全に働けるよう、在宅勤務制度など新たな働き方を導入し、十分な感染予防対策、生活全般における行動変容の徹底を実施しています。

事業継続のための取り組み

大塚グループでは、それぞれのバリューチェーンにおいて、業務効率の向上を目指し、多様で柔軟な働き方やデジタル化を従来より進めてきました。これらの取り組みをニューノーマルでさらに加速させ、世界の人々の健康に貢献しています。

臨床開発

大塚グループ各社では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨床試験の遅延を最小化する取り組みを行っています。例えば大塚製薬では、完全リモートによる臨床試験も立ち上げるなどの対策を行っています。

生産・品質/安全性管理

新型コロナウイルス感染予防マニュアルを策定し、定期的な検温、昼食時間の分散、三密回避など感染対策措置を徹底しています。また、安定供給体制の維持のために、BCPの一層の強化、省人化への技術開発といった取り組みを推進しています。また、大塚製薬では、安定供給に向け、調達品の前倒し発注、代替品の検討、予備在庫の拡大などの対応も実施しています。

大塚グループの品質部門では、各社の事業特性に合わせて品質の維持向上と安全性管理の徹底を推進しています。例えば、大塚製薬では、外注先の生産現場を直接訪問する活動に代えて、リモートによる監査を導入しました。その結果、現場の映像による確認に全国の多拠点からさまざまな立場の担当者が参加することが可能になり、コミュニケーションの活性化、品質の一層の向上に寄与しています。

販売・販促

医療機関への訪問制限下においても医療関係者への継続的な情報提供が行えるよう、主なグループ会社の医療関連事業ではデジタルプロモーションの充実やオンラインによる医療関係者とのアクセス強化、スマートフォンアプリの導入など、リアルとデジタルの融合によるハイブリッド型情報提供活動を推進しています。

顧客対応

大塚グループの医薬品のDI業務*1は在宅での受電に移行し、医療機関への訪問規制下、医療現場を支える一助となるべく業務を継続しました。大塚製薬工場の輸液DIセンターの取り組みは「コンタクトセンター・アワード2020」*2においてコールセンターの持続性・安定性を表彰する「BCPアワード」を受賞しました。

*1 DI(Drug Information)業務: 医薬品情報管理業務

*2 コンタクトセンターの取り組みを審査員および参加企業による相互審査を経て決定する表彰制度。主催: 株式会社リックテレコム コールセンタージャパン編集部、共催: イー・パートナーズ株式会社

大塚製薬は、新型コロナウイルス感染症への対策を社会的責務ととらえ、15分と短時間で判定できる新型コロナウイルス抗原測定キット「クイックナビ-COVID19 Ag」*3を2020年9月より販売しています。

*3 製造販売元: デンカ株式会社



全世界でこの新たなウイルス感染症との戦いを余儀なくされる中、当社グループにおきましても、あらゆるステークホルダーの皆さまの安全と健康を第一に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みを進めています。

健康の維持・増進への継続した取り組み

大塚グループでは、ニューノーマルな生活環境下においても、地域の健康課題解決をサポートする取り組みや、健康の維持・増進の重要性を伝える活動を継続しています。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くのイベントの中止や延期が決定される中、大塚製薬では情報提供を通じたこれまでにない形のサポートを実施しています。例えば、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)では各県の代替大会の安全な運営のために、「ポカリスエット」および熱中症対策や運動時の体調管理に関する最新情報を提供し、高校生を応援しました。

また、海外拠点のあるドバイやシンガポール、インドネシアでは、スマートフォンアプリを利用したランニングイベント「ポカリスエット バーチャルラン」を各国政府と大塚製薬と協働で開催し、水分補給や運動の重要性を伝えるWebセミナーを提供したに加え、メンタルヘルスと運動不足の課題解決のために栄養製品と医薬品の担当者が協働して情報提供を行いました。



新型コロナウイルス感染拡大下におけるメンタルヘルス危機の認知向上のため、メンタルヘルス危機の世界的キャンペーン「See it Blue」と、「ポカリスエット」の青とバーチャルランを組み合わせた企画(シンガポール)

支援活動

日本国内では、自治体や関係団体を通じて、「ポカリスエット」、「ボディメンテ」、「カロリーメイト」、「オーエスワン」等の当社グループ製品や医療用マスク・防護服等を提供しています。

また、海外では、自社の飲料や食料品、医薬品の提供のほか、現地の医療施設や赤十字社等への寄付も実施しました。例えば米国Sozosei(創造性)財団*4では、5つの慈善団体およびメンタルヘルス・腎臓病の関連の4つの団体に対し、総額939千ドル(約1億円)の寄付を行っています。

*4 2019年に大塚が設立した米国の公益財団で、メンタルヘルスや腎疾患の啓発活動、災害救援、地域社会貢献などの大塚のサステナビリティミッションに沿った活動を行う



新型コロナウイルス感染拡大下における自治体支援(写真提供: 杉並区)